

講義概要(シラバス抜粋)

**科目名**: 自己発見と大学生活

**開講期**: 春学期 共通教育科目 **配当年次**: 1年次 **単位数**: 2単位

**教員名**: 井口 正彦, 伊藤 豊, 井上 一郎, 岩永 昌晃, 上野 継義, 植村 和秀, 大川 良文, 大平 睦美, 荻野 晃大, 加藤 啓子, 佐藤 育己, 下田 幸男, 下出 祐太郎, 杉山 豊, 高崎 亨, 田畑 恒平, 鳥飼 弘幸, 中澤 正江, 中西 佳世子, 橋本 正美, 東田 晋三, 正岡 弘照, 松尾 智晶, 松高 政, 松本 高宜, 村田 英雄

**授業概要**

**【AWAYからHOMEへ「自分がそうなりたい自分へ」進める力を養う】**

・本講義では、「アウェイ」と「ホーム」を次のように定義し、大学という環境を活かした自分自身にとって意義のある「4年間」を過ごせるよう、グループで様々な活動を行います。概念図を参照してください。

「アウェイ」とは…

自分が周囲との関係性において、どのような特徴を持っているのかはつきりせず、周囲の多様な人々とどのように関わっていくべきか、方針が定まっていない学習者の状態(概念図左)

「ホーム」とは…

自分が周囲との関係性において、どのような特徴を持っているのかについてある程度理解しており、周囲の多様な人々とどのように関わっていくべきか、なんらかの方針を持っている学習者の状態(概念図右)

・本講義では、上記の「ホーム」に至るために環境と自分を結び、関連付け、学習意欲を高める力、すなわち「環境に対し積極的に**【自分の方針】**を持てる力」の獲得を目指します。

具体的には、今置かれた環境※1)を理解し、**【自分の方針】**を立てるのに必要な力※2)を付けるためのグループワークを実践します。

※1) 大学という場所の特性、京都産業大学でできることに関する知識、大学で学べることに関する知識等

※2) 理解表現力と内省力(スタディスキル: 書く、話す、プレゼンテーション、ディスカッション、パフォーマンス)

**【対話型の授業スタイルで、能動的学習の姿勢を身につける】**

・本講義では、大学生が初年次に習得すべき4つの力を活用した能動的な学習活動を支援します。

①スタディスキル: 書く、話す、プレゼンテーション、ディスカッション

②スチューデントスキル: 大学生としてのマナー、態度、一般常識

③専門教育につながる基礎的知識・技能

④情報リテラシー: ITを使った調査)

・本講義では、「対話」を重視して、自己理解・他者理解の深化と多様性の受容による自己肯定感の向上を目指します。「対話」は受講生同士だけでなく、キャリア教育科目学生ファシリテータ(略称: 学(がく)ファシ)と受講生、受講生と教員の間でも展開するよう工夫がなされています。

例えば毎回授業後に提出するリフレクションノートで、授業の学びの振り返り活動とともに文章による受講生と教員の対話を実践します。

・本講義は、大学教育の体験とその習得への道程と位置付けています。大学教育の根幹とは、自らが情報を獲得・整理し、問題を発見して解決策を考え、そこに自らの新たな考察を加えた内容を、周囲の理解を得られる論理的な文章として作成することです。

・本講義は、以下の科目群に属しており、継続的に学ぶことが望ましい科目です。

- 1 年次科目「本科目」: 大学がホームであることを実感し、適応する
- 2 年次科目「大学生活と進路選択」: 大学生活で自らがホームをつくる力をやしなう
- 3 年次科目「自己発見とキャリア・プラン」: 卒業後に自分のホームを見いだし、つくる力を高める

### 授業内容・授業計画

《様々な刺激を基に自分のことを考えるパート》

- 第1回 オリエンテーション — 自己表現とフィードバックを通じた授業体験 —
- 第2回 対話を通して知る自分 — 私が人生で大切にしてきたことは何だろう —
- 第3回 大学生活を考える — 大学生活のエピソード創りとパフォーマンス体験 —
- 第4回 大学生活を文章表現する — アカデミックライティング・ピアレビュー体験 —
- 第5回 「先輩インタビュー」 — 関心をもち、問いかけ学ぶ体験 I —
- 第6回 「大学生基礎力レポート」を通して知る自分 — 適性検査の使い方 —
- 第7回 「キャリア・インタビュー」発表 — 社会人のキャリアデザインを聞き、まとめ、発表する体験 —
- 第8回 「社会人の先輩インタビュー」 — 関心をもち、問いかけ学ぶ体験 II —

《チーム一体となってものを創り表現する活動をおこない、それを振り返るパート》

- 第9回 大学生活を産(む)すぶ — グループワーク① ストーリー創りと協働の基本を学ぶ —
- 第10回 大学生活を産(む)すぶ — グループワーク② パフォーマンス創作 I —
- 第11回 大学生活を産(む)すぶ — グループワーク③ パフォーマンス創作 II —
- 第12回 大学生活を産(む)すぶ — グループワーク④ パフォーマンス創作 III —
- 第13回 クラス発表会 — グループパフォーマンス体験 —
- 第14回 2クラス合同発表会と学びの振り返り  
— クラス代表パフォーマンスを見て、グループへの貢献と授業の学びを振り返る —
- 第15回 チャレンジシート「私の大学生活」作成と発表  
— 自分が満足する大学生活を産(む)すび、実践へとつなげる 1 分間 —

### 授業の到達目標

- ・大学という環境を自分の「アウェイ」から「ホーム」にし、それを活かして自分自身にとって意義のある「4年間」を過ごす方針を自ら立てる、というマインドセットを獲得する
- ・自己理解・他者理解を深め、多様性を受け入れる態度を習得することにより自己肯定感が向上する
- ・大学はフラットな立場でお互いの意見を相互尊重する場であり、論理的な議論を展開し新しい知を生み出す場だと理解する
- ・他者と協業し、一員としての役割を果たす楽しさを実感し、チームワークに対する意欲が向上する
- ・キャリアは環境の下で自ら方針を立て、行動を通じて形成してゆくものだと理解する

身に付く力

・「アウェイ」から「ホーム」に至るために環境と自分をエンゲージメントする力

：環境とは、大学という場所の特殊さ、京都産業大学でできることに関する知識、大学で学べることに関する知識から得られる「場の理解」です。

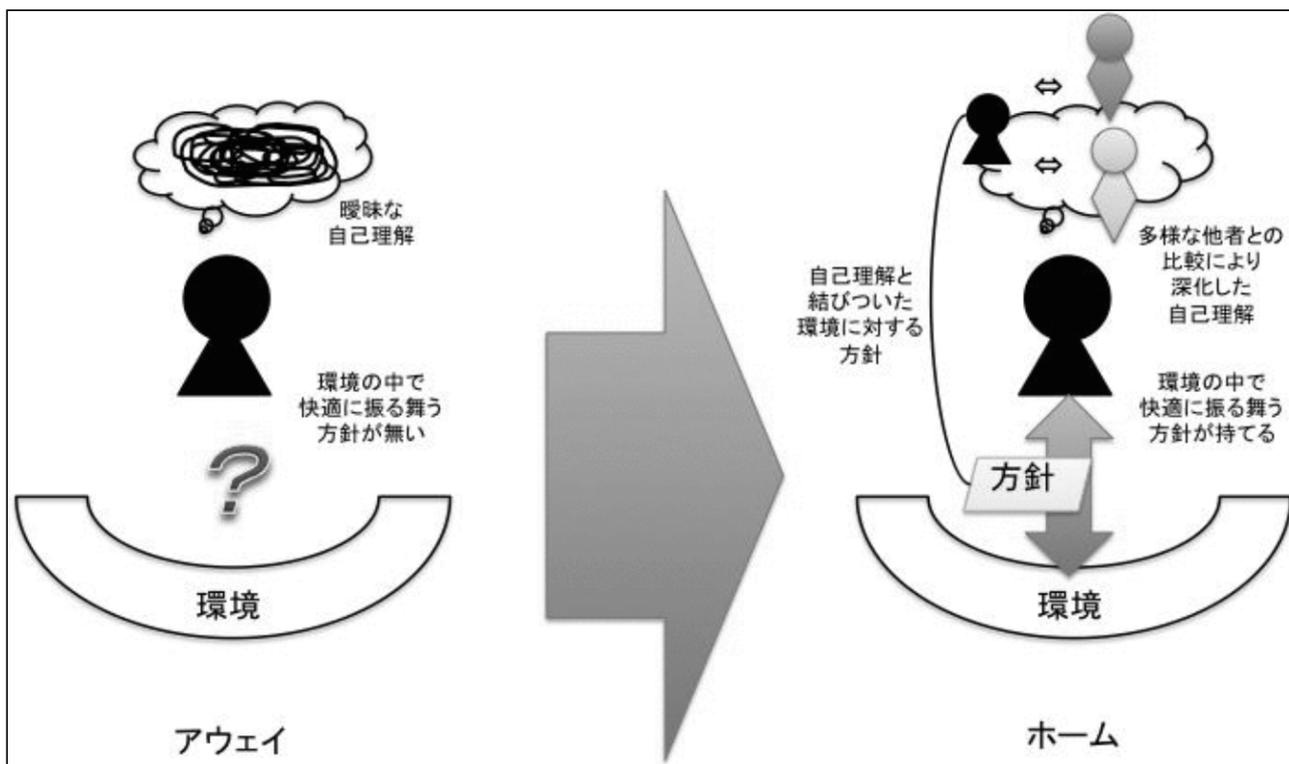
・環境に対して積極的に【自分の方針】を立てる力

：自分の方針を立てる力とは、理解表現力と内省力(スタディスキル:書く、話す、プレゼンテーション、ディスカッション、パフォーマンス)です。

評価方法

「リフレクション・ノート」55%+「キャリア・インタビューレポート」25%+「グループワーク貢献」20%

図1



2015年度 関連スケジュール

キャリアガイダンス 4月3日(金)、4日(土)

授業開始 4月7日(火)

「自己発見と大学生活」最終発表

7月10日(金)、13日(月)、14日(火)、15日(水)、16日(木)